

提出順	//	発言順	//	令和 4 年 5 月 3 日
				午前・午後 9 時 2 分受領

(2 枚中No. 1)

2022年 5月3/日

(宛先) 安曇野市議会議長 平林 明

安曇野市議会議員

猪狩久美子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 4 年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	生理用品の無料配布から考える		
質問の要旨 (具体的に記載してください) 1、貧困対策として始まった生理用品の無料配布だが、これまでの利用状況はどうであったか。カード提示というやり方は、不十分ではなかったか。 2、生理用品は生理のある人にとっては必需品であり、トイレットペーパー同様、公共施設や学校の女性用トイレに備えておくべきではないか。 3、現在、寄付に頼っている生理用品だが、きちんと予算化すべきではないか。 4、生理の貧困問題は、経済的な問題と同時に性教育の不十分さ、知識の不足から無知や無理解を生みだしている。学校教育での性 (生) 教育の充実を図るべきではないか。			

提出順	//	発言順	//	令和4年5月31日
				(午前・午後 9時52分受領)

(2 枚中No. 2)

2022年 5月31日

(宛先) 安曇野市議会議長 平林 明

安曇野市議会議員 猪狩久美子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 4年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	子どもたちの学び・育ちの環境を支える		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

1、不登校問題について

- ① 不登校児童生徒が、年々増加している現状をどうとらえているのか。
- ② 不登校児童生徒と親が相談できる体制はどうなっているか。
- ③ 教育支援センターの役割、具体的な支援内容は何か。相談や支援が及ばない児童生徒への対応は。
- ④ 不登校児童生徒の学習支援や居場所の提供、保護者活動を行っている市内の民間機関・団体の把握は。また、教育委員会との連携はどうなっているか。補助金などを出す必要があるのではないか。

2、コロナ禍が長引き、さらにウクライナ情勢のもと、子どもたちに寄り添う対応を